

神戸校区 タウンミーティング開催報告

【日 時】 令和6年1月27日（土） 19：00～20：30
【場 所】 神戸公民館
【参加者】 地域：11人（神戸校区連合自治会長など） 市：3人（市長、建設部長、神戸公民館長） 傍聴：9人
【テーマ】
1 加茂川左岸河川敷の有効利用
2 校区内の道路整備
3 高齢者の見守りの活性化
4 公民館の建設について

概 要

【自治会長挨拶】
市長と直接話すことができる機会が回答もいただけるということなので、積極的に発言し会議を進めていきたい。

参加者の発言要旨	市の発言要旨（及び対応）
1 加茂川左岸河川敷の有効利用	
(1) 河川敷の整備	
<p>国道11号からJRの鉄橋までの河川敷は比較的更地になっているが、凹凸があるのでもう少し整備していただき、キャンプ場やウォーキング、高齢者のゲートボール等スポーツができるように整備してほしい。</p> <p>県の土地なので難しいことも承知しているが、市はどのように考えているか。</p> <p>また、加茂川橋から水管橋までの間、私有地の部分もあるが、雑草が結構生えているので、市で整備することが可能か。もしくは何か対策ができないか。</p>	<p>加茂川左岸の河川敷の空き地は、市が愛媛県から占用許可を受け、令和4年度から西条まつりの駐車場として整地している。</p> <p>過去に建設省の「ふるさとの川モデル河川」に指定され、平成3～9年度にかけて県と市がお祭り広場やテニスコートとして整備を進めていたが、河川内には民地が点在し、土地の所在確定や所有者不明の問題から用地取得が難しくなり、平成9年度以降は事業を断念した経緯があると聞いている。</p> <p>事業再開の目途は立っていないが、今後も県に用地取得のお願いをしていく。</p> <p>河川は公共のもので水遊びや散歩等、原則誰でも自由に利用可能であるが、ゴルフ練習やラジコンを飛ばす等、危険・迷惑行為になるようなものは河川法で制限されている。</p> <p>お祭り広場やトリム公園は、市が県から占用許可を受け公園として運営しており、都市計画管理課に申請書を提出すれば使用可能である。</p>
<p>河川敷に生えている木の枝が道路に伸びてきて、トラック同士が離合する時に、危険である。</p> <p>過去に切ってもらったことがあるが、夏は草や枝の勢いが強く、ガードレールに巻きつくこともあるので、1年に3回くらい定期的に伐採してもらうことはできないか。</p>	<p>国道194号は愛媛県管轄の道路であるが、大型車両の通行量が多く路肩が狭いので、部分的に拡幅している。最終的には、国道11号の交差点から釜之口警察連絡所を過ぎるあたりまで路肩部分を広げる事業を実施している。</p> <p>河川も県の管轄であるが、堤防部分の点検管理を年1回行うよう法律が変わった。</p> <p>除草、木の張り出し具合等を見ながら、県に伝えていく。</p>

参加者の発言要旨	市の発言要旨（及び対応）
(2) 加茂川の土砂堆積	
<p>県の管理だと思うが、加茂川橋の橋脚あたりに土砂が溜まっているので取ってほしいと伝えてもらいたい。</p>	<p>加茂川の河床掘削は継続的にやっていかねばならない。生命・財産を守るために要望していきたい。 以前は、河川土砂を取ることが禁じられていたが、その後、山からかなりの量の土砂が流れ込み、堆積し始め危険だということで、国土強靱化という防災の観点から取るようになった。民間事業者に委託もしている。</p>
2 校区内の道路整備	
<p>神戸地区全般において、道路の路面に凹凸があり、通行しづらい。 特にマンホールがあると水たまりがしやすい。少しずつ修繕してくれているようだが、大型車が通ると道が沈んだようになっている。</p>	<p>生活道の全てに目が行き届いている状態ではないが、事故防止のため予算を少し増額し対応箇所を増やしていきたい。 道路整備の中長期計画はないので、要望がある箇所について、できるだけ多くの距離を修繕していきたい。 4m未満の未改良と位置づけられる道路は、地元の方からの要望かつ沿線の土地の所有者・地元の方の了解を得てからの対応になり、複数年をかけて広げるのが一般的である。 市内全域で生活道路として使われる一車線の道路の舗装要望が多く、特に公共下水道が整備されている地域は、数年経つと道路上にあるマンホールが浮いた状態に見えてしまうことが多い。 一度に何百mも舗装をかけることは財源的に難しいので、現状は年度ごとに細切れで対応している。ご要望全てには対応できないが、悪い状況のところについてはしっかりと対応していく。 来年度には、車に設置したスマートフォンで路面の状態を調べ、損傷具合をAIが判定するシステムの導入を検討している。機械的に判定する技術を使うことで、地域の人への説明責任を果たすことができ、理解も示していただけるのではないと思う。</p>
<p>国道194号の一部に道路の中央あたりから川の方に向かってひび割れがある。まっすぐ運転していると、左側が下がっていくような感じがある。 地震の際に大きな災害につながる可能性があるため、県に修繕の要望を念押ししていただきたい。</p>	<p>市がやるべきこと、県や警察にお願いしていくことを明確にし、対応していきたい。 国道194号は大型車両の通行量が多いのも事実で、このこともしっかり対応していく。</p>
<p>小学生は道の端を歩くように指導されているが、雨の日は大きな水たまりができて、道の端を歩けない状態になっている。</p>	<p>通学路については、定期的に安全推進連絡協議会で確認し、各学校から要望をいただきながら対応している。令和4年度には市単独予算も使って対応した。</p>

参加者の発言要旨	市の発言要旨（及び対応）
3 高齢者の見守りの活性化	
<p>神戸校区の人口は約3,400人だが、そのうち75歳以上の単身者や障がい者の単身者(年齢関係なし)を対象に、自治会でも見守りを行っていきたい。</p> <p>神戸校区に7人いる民生委員とタイアップできるような方法を市から提案してもらえると地域としても動きやすい。</p>	<p>平時の見守りとして「独居高齢者ネットワーク事業」を実施している。令和5年度から見守り対象者の区分や見守り方法を見直し、1種対象者を民生委員や見守り推進員が見守り、2種対象者をSDGs推進協議会に登録している企業や団体が見守りを行っている。</p> <p>平時の行動が進化して、災害時の避難行動につながると思うが、高齢者や障がい者の方の避難に関して、本市では情報開示がひとつのハードルとなり、避難行動要支援者の個別計画の策定があまり進んでいない。</p>
<p>能登半島地震の際に、高齢者の安否確認がなかなかできなかったようだ。</p> <p>見守りは、地域の中でどれだけコミュニティができていくかということに尽きるが、個人情報の取り扱いが難しい。</p> <p>神戸地区でやるのであれば、モデル地区としていろいろな部門と連携しないとできないと感じているので、市からも全面協力という形でバックアップしていただきたい。</p>	<p>一事業だけでなく、複合的に考える必要がある。自主防災組織と民生委員や見守り推進員が連携しながら、避難行動要支援者の方を訪問し、支援を必要とする人の情報を共有できるのではないかと思う。</p> <p>例えば、有事の際には駐在所の警察官や消防団とも連携が取れることが望ましいので、地域全体で取り組まなければならないと思う。モデル地区として話し合いを進めてもらえるなら、ぜひお願いしたい。</p>
4 公民館の建設（複合化）について	
<p>これまでに公民館建設について、検討会を4回、建設委員会を2回実施し、小学校との複合化という方針は決定したが、自分達の希望内容と市からの提案内容にズレがある。</p> <p>市から提示されたメインとなる会議室の広さが現状の7割くらいなので、もう少し広くしてほしい。</p> <p>時間帯によっては利用団体が重複することもあるので、公民館として余裕のあるスペースを希望する。</p> <p>事務所も狭いのではないか。ホールに収納スペースがないので、不便に感じるのではないか。</p>	<p>複合化に関しては、建設委員会で精力的に協議していただいていると聞いている。</p> <p>小学校の建設スケジュールは、令和6年度に実施設計、令和7年度～工事着工、令和9年度供用開始予定である。</p> <p>公民館は令和8年度に実施設計、令和9年度に建設工事、令和10年度に供用開始となる。</p> <p>公民館の事務室のスペースがもう少し必要であると聞いているが、小学校1階の共用部分や収納スペースについて確認しなければならないと思っている。</p> <p>公民館の施設規模は、学校施設との共用部分を含めたものとなるため、現在お示ししている案の規模を大きく上回ることは現実的ではないと考える。</p> <p>地域の方と子ども達の交流が実現できるレイアウトについて、これから協議をしていきたい。</p>

参加者の発言要旨	市の発言要旨（及び対応）
<p>公民館への進入路について、小学校西側の市道はとても狭く、国道11号側の進入路（南側）しかないということだったが、年配の人が運転してくるので出入時の交通事故が心配である。しっかり考えてもらいたい。</p>	<p>学校は本来安全な場所であり、北側を進入路とした場合、子ども達と車両との接触が非常に心配である。 子どもの安全を確保できるか、あるいは車の進入をどのような形で区切るかを考えなければならない。 国道（歩道橋付近）に信号機の設置が可能であるか警察に確認したところ、設置不可との回答であった。 西側市道の拡幅について、隣接する土地の寄付を受けて広げる方法もあるが、車の通行量が増え、登下校時の危険性が高まることが想定されるため、バランスを見極める必要がある。 駐車場については、公民館施設の近くに高齢者・障がい者用のスペース設置に加え、北側から子ども達が進入する場合の駐車場設置方法を考える必要がある。</p>
<p>各種団体や地域の人など、もう少し広げて話し合いの場を設けていただきたい。 保護者は敷地内の子どもの安全を一番に考えるが、多世代の人が利用する施設になるので地域の人々の考えも聞きながら決めていく必要があるのではという意見も出た。 デザインや施設の使い方もみんなで話し合いながら考えることができれば、完成後に、より身近な施設として利用してもらえと思う。</p>	<p>一方向からだけではなく様々な方向から見るのが大事である。 神戸校区は今後の西条市の複合化施設の見本となるので、たたき台は行政がつくり、PTAの皆さんも含めて、ご意見をいただきながら夢を膨らませるような話し合いの場があってもよいと思うので、持ち帰り主管部に伝える。</p>

<開催の様子>

